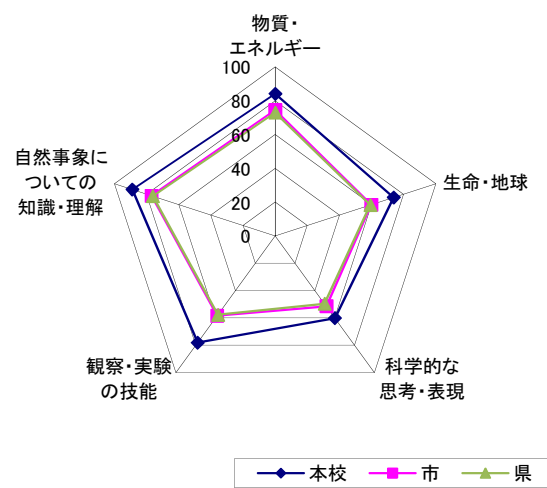


宇都宮市立海道小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	84.2	74.5	72.9
	生命・地球	73.8	59.8	59.2
観点	科学的な思考・表現	60.2	51.6	49.7
	観察・実験の技能	78.1	58.4	57.7
	自然事象についての知識・理解	88.9	77.0	76.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	平均正答率は、県と比べて11.3ポイント高い。 ○物と重さの問題、風とゴムの働きの問題、光の性質の問題、磁石の性質の問題がよくできている。問題—予想—解決策を考える—解決策の実践—わかったこと—まとめといった学習パターンを繰り返して行ってきた成果であると考えられる。 ●電気の通りの道の誤った回路のつなぎ方を説明することに課題が見られた。	・課題解決的な学習方法は、今後も継続して行う。 ・実験を行う中で、新たに生じた問題に対して、原因を予想させたり、解決法を考えさせたりすることを丁寧に行い、理由を説明できるようにする。
生命・地球	平均正答率は、県と比べて14.6ポイント高い。 ○こん虫と植物の問題、身近な自然の問題、太陽と地面の問題がよくできている。虫めがねや温度計、方位磁針の使い方等、丁寧に指導してきた。また、学校周辺の自然を授業に活かしたり、総合的な学習の時間で取り上げてきたりしたことの成果であると考えられる。	・理科で使用する用具の使い方の指導は、今後も一人一人に用具を渡して丁寧に指導するとともに、なぜそのようにするのかといった理由も考えさせる。 ・理由を文章で説明することを授業のまとめで繰り返す行うことで、思考・表現する力を培っていく。